

活セン ニュース

2016年11月号

発行：いなべ市市民活動センター TEL：0594-74-5806 FAX：0594-74-5834

「居場所」のある暮らし

居場所という言葉をよく耳にするようになった。居場所づくりの活動は、サロンやコミュニティカフェ、〇〇の家などと呼び名も様々で、活動の形態も幅広い。活動する内容も決めていなかったり、場所も常設ばかりでなく、たとえば月に1回、場をひらくものもある。しかし、このような場を求める人がいることも事実である。このような居場所とは何か？について、他の地域の様子をお伝えしたいと思います。

*自由で楽しい料理サークル「おとこの台所」

東京世田谷区の「おとこの台所」、シニア男性の料理サークルで、メニューづくりから買い物、料理、後片付けまで行い、出前シェフなども行っている。シニア男性がフラットな関係で居心地よくつながっている。会のルールは、“命令しない”“自慢話をしない”“過去を語らない”くらいと自由なサークルです。

*立ち寄り処「森のこみち」

東京多摩地域にある小金井市の緑豊かな住宅街の一角で、会員が自宅の一角を開放し居場所づくりの活動が始まった。メンバーは、防災を意識した拠点づくりに関心が高まり、「災害時は、人とのつながりの度合いで、生存率が変わると言われ、日頃から立ち寄れる場所が必要と考え活動を始めた。

「森のこみち」は、月に1回開催、イベントも何もなし。ただ立ち寄ってお話したり、庭を眺めたり、お年寄り、子連れのお母さん、小学生など様々な方の居場所になっている。



*宮城県女川町「ゆめハウス」

東日本大震災で唯一残った建物を活用し、居場所づくりを行っている。いろいろ変わるニーズに答えながら、活動を行っている。庭で農作物をつくることにしてから、男性の居場所も生み出している。ひと息つくと「お茶っこ」お茶やお菓子を食べながら話をします。この時間が大切なひとときになっています。

このような「居場所」は千差万別で、唯一の共通点は「安心してありのままにいられるところ」なのではないかと思っています。そして、このようなつながりが結果的に、防災の拠点、コミュニティの再生の場など、様々な要素を兼ね備えた場になっています。こんな緩やかな居場所があちこちがあればいいなあと思っています。

豊かな自然を活かすネットワーク！ in 揖斐川流域

10月10日(月)、岐阜県揖斐川町のラーニングアーバー横蔵において、三重、岐阜、愛知で環境に関する活動を行っている団体のネットワークづくり交流会が開催されました。この催しは、NPO 法人地域の未来・志援センター・セブン-イレブン記念財団の主催で、東海三県の環境活動ネットワークづくりとして始まり、渥美半島での開催、今回で2回目となりました。

第1部、基調講演では、前滋賀県知事の嘉田由紀子さんから「水がつなぐ人と自然」と題して琵琶湖の大切さ、流域のつながりが、関西圏の水がめとして大きな役割を果たしていることの事例を挙げて話をいただきました。

第2部 シンポジウムでは、この交流会の課題「流域ネットワーク」を創ろうと題して討議、その後、昼食をはさんで分科会が開催されました。

- 1) 地域のいきもの・自然保護
- 2) 地域の資源 古民家 空き家の利活用
- 3) いなかとまちの交流・エコツーリズム
- 4) 地域の自然と寄り添う暮らし
- 5) 環境教育～次世代を育てる

の5分科会で、参加者はそれぞれの地域で関心のある問題ばかりで、熱心な議論になりました。



いなべ市でも関心のある内容ばかりでした。次年度は、三重県での開催を予定しており、さらにネットワークが広がることが期待されています。



地産の食材を
利用した
お茶漬け選手権



カナの訪問レポート

手芸ボランティア ピエロ

社協のボランティア講座を受講後、給食ボランティアを始めたグループでしたが、手芸が得意な仲間が集まり「手芸ボランティア ピエロ」が発足、活動を続けて20年になります。今まで保育園児のリュックや、一人暮らしの方のズボン直し、デイサービスの施設内のイスカバーなど、様々なものを作りました。「中でも大変だったのが、盲導犬のためのポーチでした。何度も試作や工夫して作り上げました」と当時を振り返ります。



この日は、藤原作業所のお手伝いで、手提げトートバッグを作ってみえました。これは、市民の方から藤原作業所へ寄付された着なくなった着物をほどいて（この作業がとても大変だそう！）アイロンがけした生地を利用して、手提げバッグなどにリメイクしています。ミシン以外の道具や材料は各自で持ち寄って作業していますが、様々な生地に様々な使うことのできる材料を購入する資金作りが悩みとのこと。ピエロさんの人気商品は「お薬カレンダー」（写真左）です。毎日薬の飲み忘れがないように、とても工夫されたお薬入れです。当センターにも見本がありますので、必要とされる方にいかがでしょうか。



子育てサロン さくらんぼ

第4金曜日に未就園児とママたちの交流会を開催している「さくらんぼ」。10月はハッピー・ハロウィンと題して、お菓子釣りのゲームやカフェタイムを企画。なんと過去最高の49組が参加してくれました！可愛いおばけや魔女に仮装するベビーたちも！そんな中、ゆっくりお茶しながらおしゃべりできるママたちをみて、さくらんぼのメンバーもやりがいを感じます。「さくらんぼでしかできないような楽しい企画や他にもやりたいことが沢山あります。皆さんの声（意見）や手（ボランティアスタッフ）を求めています、ぜひ参加してほしいです」（代表・服部さん）



次回からの予定

- 11/18 お片付け講座[📍]
- 12/16 クリスマス会（予約制）
- ※1・3月は都合により第3金曜

問 090-5100-7322（服部）

チラシ(超)実践セミナー 活動のPRに必要なチラシづくりを学びます

と き 11月12日(土) 9:30~12:00
ところ いなべ市市民活動センター
内 容 効果的なチラシの作り方
講 師 瓦谷 理 氏
地域密着型広告代理店 ケーエス代表 鈴鹿メディアパーク取締役
定 員 20人(申し込み先着順) 講座費 無料です

おしらせ

2016 とういんワクワクフェスタ



12月4日(日) 9:15~15:00 東員町総合文化センター
*ステージ(9:15~10:30)
*出展ブース(10:30~15:30)、販売ブース(10:30~14:30)
団体の活動の一コマが見えます。ゲーム、工作コーナーもあります。

ボランティアのつどい

12月11日(日) 13:30-15:30 員弁老人福祉センター 2階
*市内のボランティア団体、市民活動団体の交流会です。
*3団体程度、活動発表があります。

協創シンポジウム 2016

みえ市民活動ボランティアセンター・アスト津3階

12月4日(日) 13:00~16:30

五感で楽しむ国際交流

16のブース出展、ステージイベントもあります。

(見る・聞く・かぐ・あじわう・さわる)の5感で楽しむ国際交流

12月23日(金・祝) 13:00~17:00

社会、地域、組織、人を変える仕組みと出会い

基調講演 講師 岸川 政之さん

いなべ市市民活動センター

員弁庁舎敷地内 員弁健康センター内 2階

TEL (0594) 74-5806 FAX (0594) 74-5834

MAIL i.shiminkatu@m7.cty-net.ne.jp

委託事業運営者 NPO 法人 いなべ市民クラブ

